

The background features a network of white lines connecting nodes, with several gear icons and binary code (0s and 1s) scattered throughout. A large white curved line separates the graphic from the text on the right.

クラウド移行なら どこでも使える EDB Postgres

SIOS Technology, Inc.

Innovative Solution Business Planning Dept.

Tatsuhiko Murata



世界中の人々のために、不可能を可能に。

SIOS is Innovative Open Solutions

私たちサイオスグループは、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献します。

会社概要

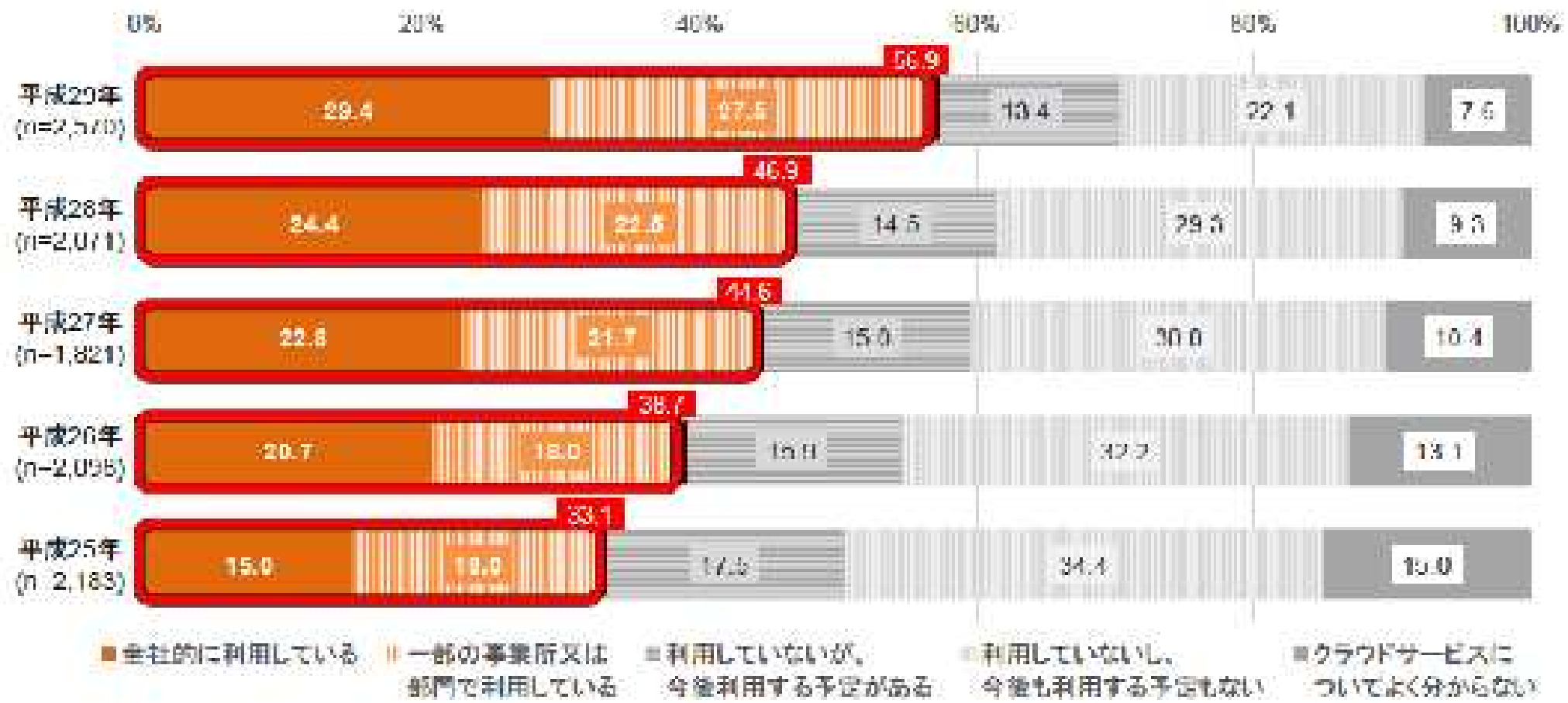
会社名	サイオス株式会社（英語表記：SIOS Corporation）
設立	1997年5月23日 （5月23日は、1995年 SunWorldで初めてJavaが発表された記念となる日です）
市場情報	東京証券取引所 第二部 3744
所在地	〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル
グループ会社	サイオステクノロジー株式会社 〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル SIOS Technology Corp. 155 Bovet Road, Suite 476, San Mateo, CA 94402, U.S.A. 株式会社グルージェント 〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル 株式会社キーポート・ソリューションズ 〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル Profit Cube株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-20 天王洲郵船ビル17F

沿革	
1997年 5月	株式会社テンアートニ設立
2002年 1月	ノーザンライツコンピュータ株式会社と合併
2004年 8月	東証マザーズに上場
2006年 6月	SteelEye Technology, Inc.（現SIOS Technology Corp.）を買収
2006年 11月	社名をサイオステクノロジー株式会社に変更
2008年 2月	株式会社グルージェントを子会社化
2009年 12月	関西営業所を開設
2013年 7月	南麻布へ本社移転 中部営業所を開設
2013年 11月	DirectorsGear事業をニフティから買収
2014年 4月	九州営業所を開設
2015年 4月	株式会社キーポート・ソリューションズを子会社化
2015年 5月	東証第二部へ市場変更
2015年 6月	BayPOS合併会社設立
2015年 10月	Profit Cube株式会社を子会社化
2017年 10月	サイオス株式会社を持株会社とする経営体制への移行に伴い、サイオステクノロジー株式会社を事業会社として分割

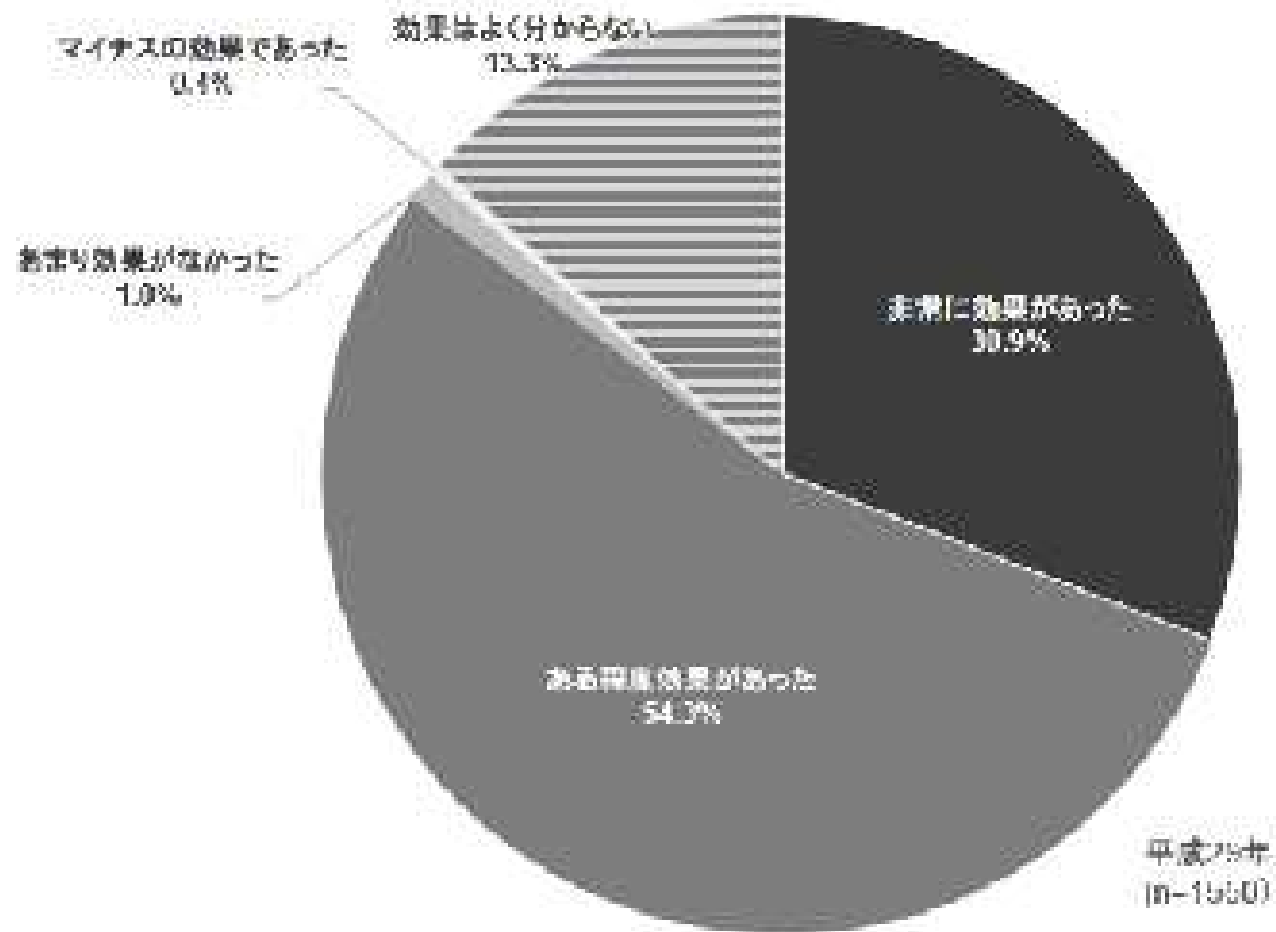


クラウド活用の現在地

いまではクラウドの活用はあたりまえ？



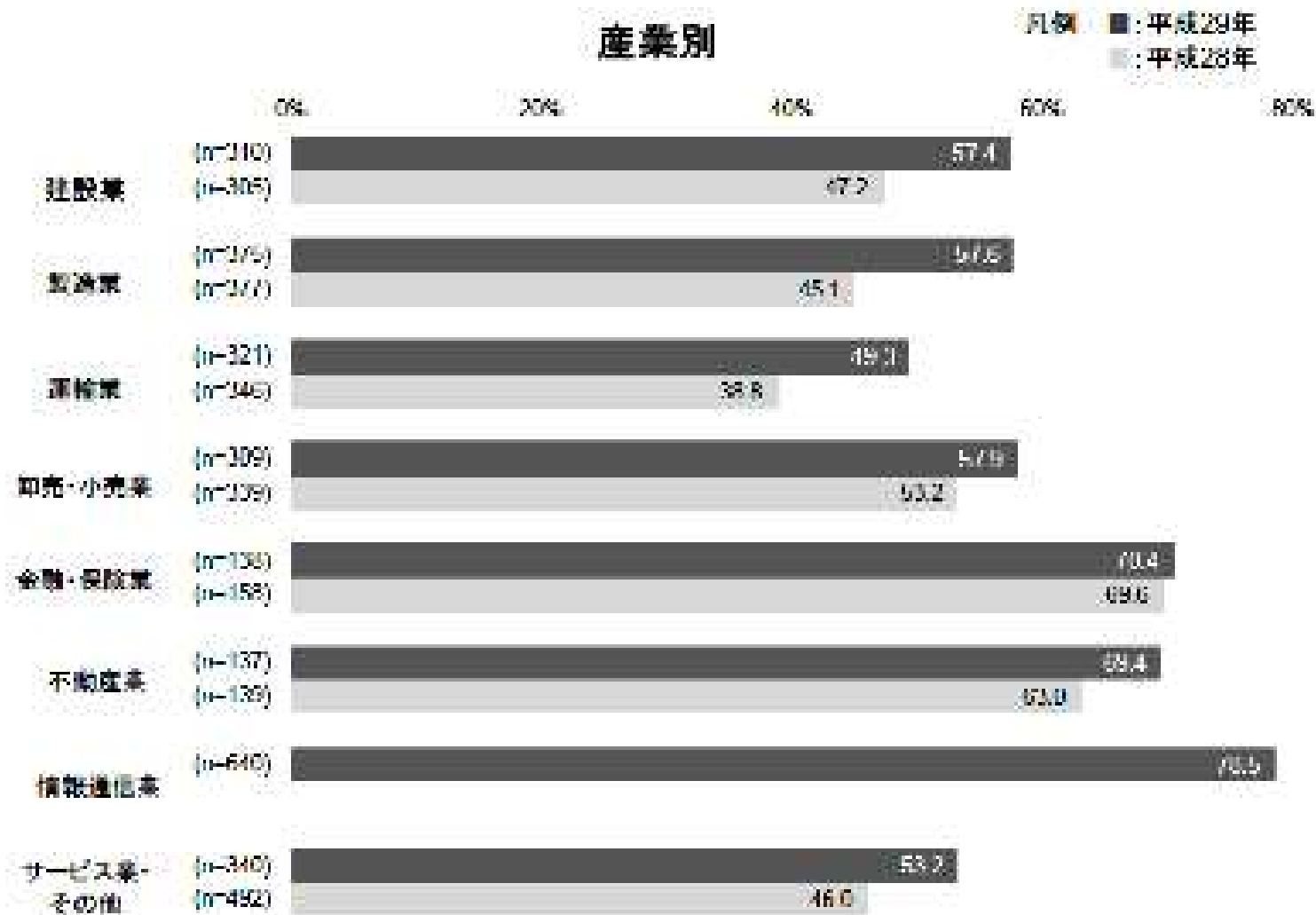
導入企業はクラウドの効果を実感



クラウドの効果を実感している企業は全体の80%を超え、今後は更なる利用の拡大も想定される。



業種を問わず拡大するクラウド

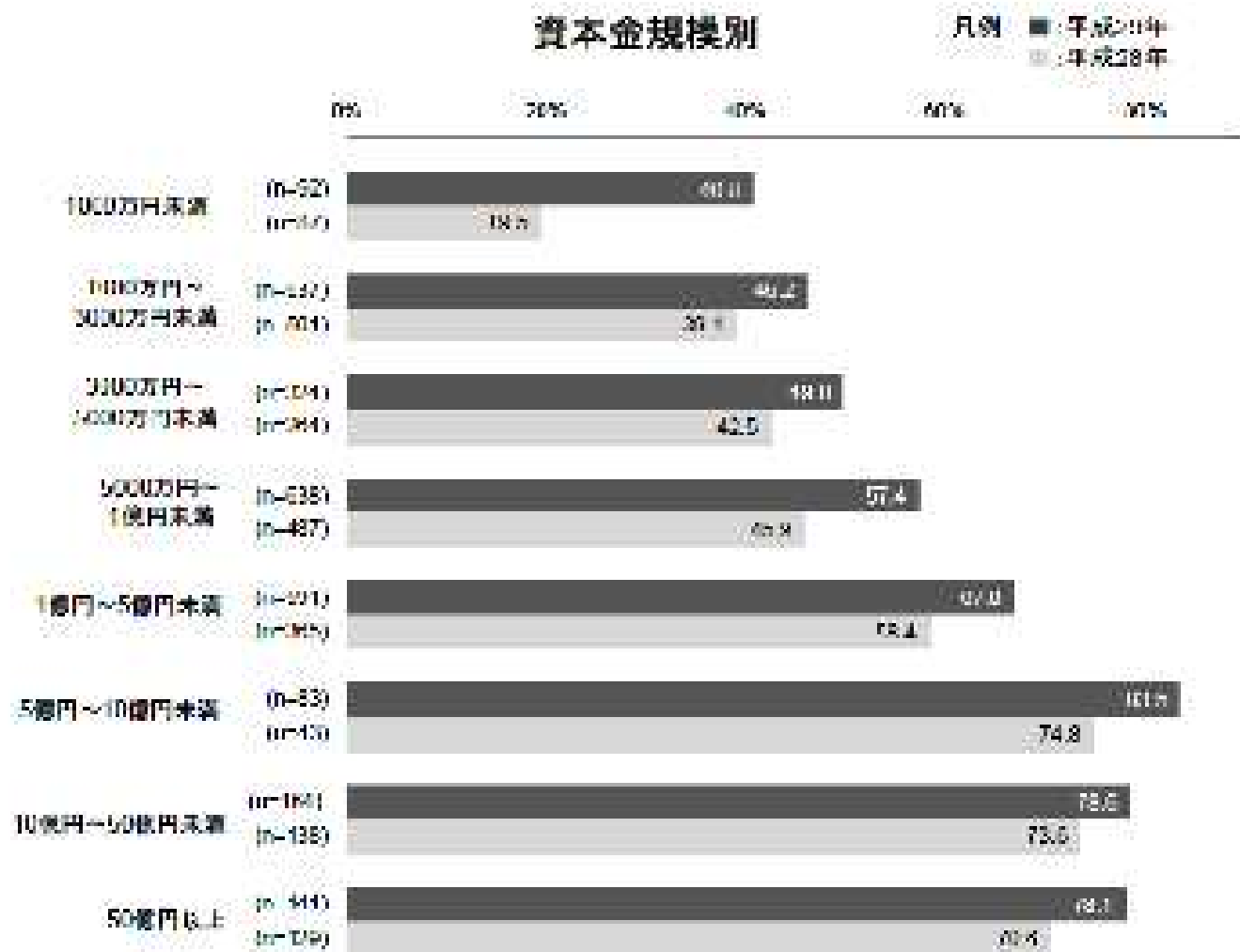


全体的に利用率は増加している。情報通信業の次に金融/保険業が続く結果となった。

(注) 平成29年調査では、情報通信業を独立した産業として集計したため、全体に占める情報通信業の比率も前回調査に比べ上昇している。経年比較にあたっては留意が必要。(前回平成28年調査までは、情報通信業はサービス業・その他の内数)



資本金規模が高いほどに進むクラウド利用



資本金の規模で見た場合、10億円をピークに規模が大きいほどクラウドの利用も増加していく傾向が見える。



クラウド マネージドサービス型 RDBMSとEDB Postgres

クラウドでのデータベースの選定ポイント

システムの傾向

運用期間とコスト

ソフトウェアモデル or マネージドサービス

可用性とサポート



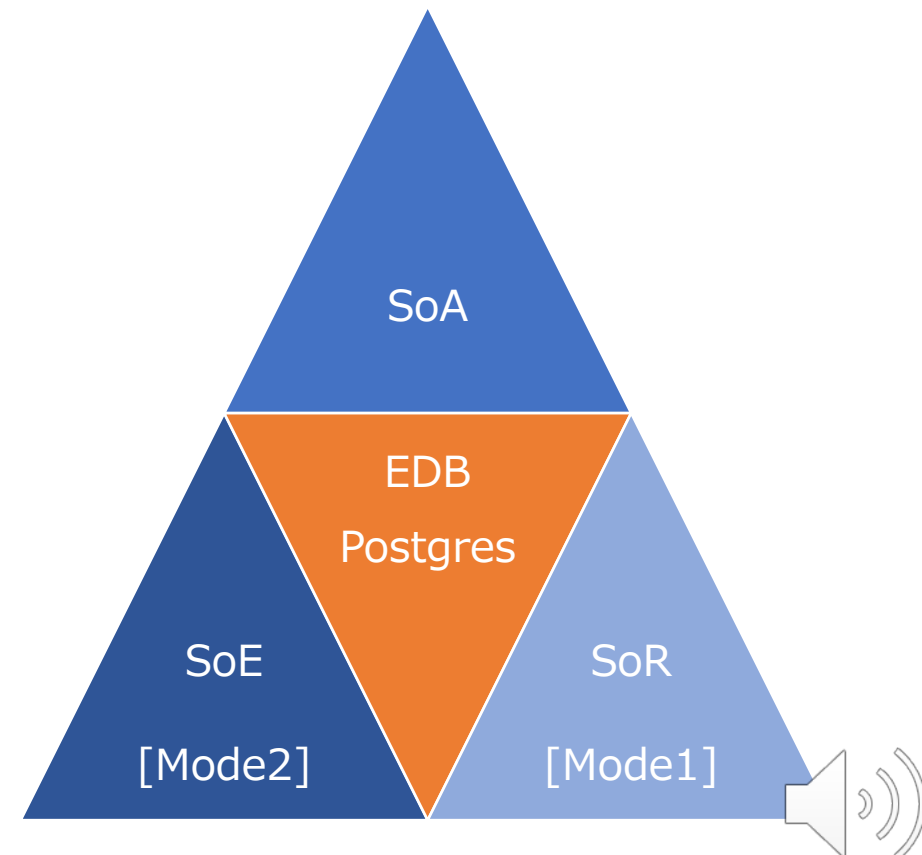
クラウドでのデータベースの選定ポイント

システムの傾向

- 下記3つのモデルから該当を確認
 - SoR (System of Recode)
 - SoE (System of Engagement)
 - SoA型 (System of Analytics)

→ クラウドネイティブアプリケーション

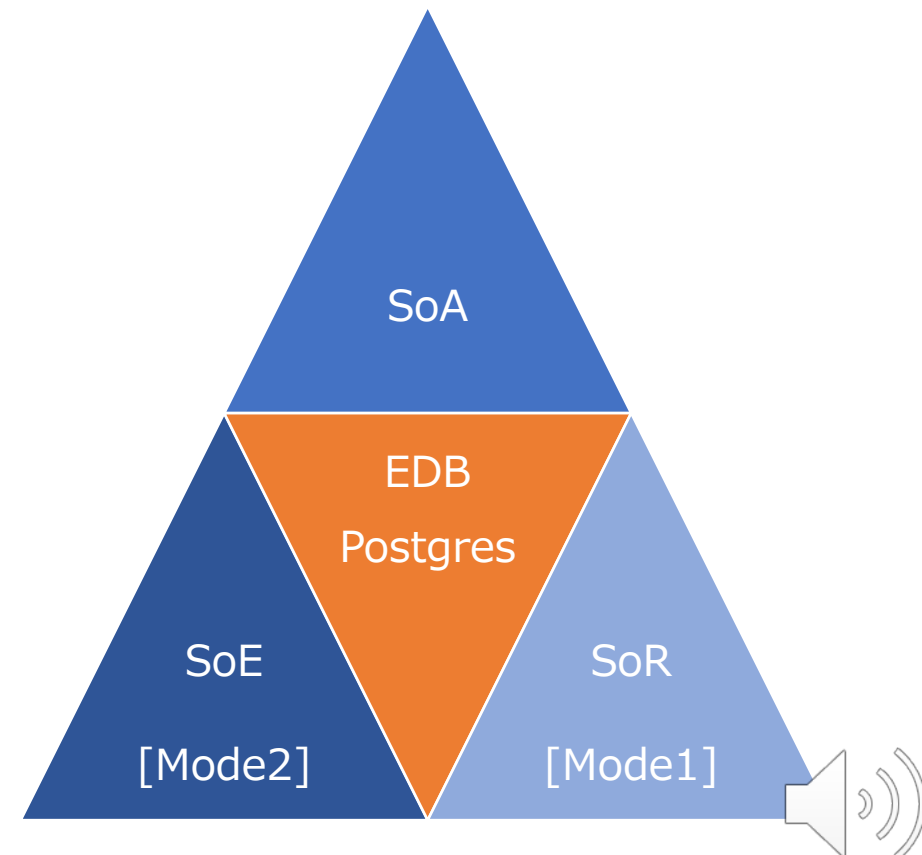
→ クラウドリフト型アプリケーション



クラウドでのデータベースの選定ポイント

システムの傾向

- 下記3つのモデルから該当を確認
 - SoR (System of Recode)
 - SoE (System of Engagement)
 - SoA型 (System of Analytics)



→

クラウド

1つのクラウド?
複数のクラウド?
オンプレ連携?

→

クラウド

クラウドでのデータベースの選定ポイント

運用期間とコスト

- クラウド利用の特徴に、従量課金での利用ができることが上げられます。これは、初期コストを抑えスモールスタートするビジネスに最適です。
しかし、RDBMSを使用するシステムの多くは利用する期間とサイジングが行われたシステムが多く、この場合はリザーブドインスタンスを選定します。

※リザーブドインスタンスは基本的には1年もしくは3年の提供となります。



クラウドでのデータベースの選定ポイント

ソフトウェアモデル or マネージドサービス

- 次にソフトウェアで導入するか、マネージドサービスを選択するかがポイント。EDBと一般的なクラウドサービスで比較してみます。



クラウドでのデータベースの選定ポイント

ソフトウェアモデル or マネージドサービス

- 次にソフトウェアで導入するか、マネージドサービスを選択するかがポイント。EDBと一般的なクラウドサービスで比較してみます。

マネージドサービスの利点

- 構築不要
- 運用不要
- クラウドサービスのSLAが適用
- 冗長構成の標準提供
- 安価な利用料金



クラウドでのデータベースの選定ポイント

ソフトウェアモデル or マネージドサービス

- 次にソフトウェアで導入するか、マネージドサービスを選択するかがポイント。EDBと一般的なクラウドサービスで比較してみます。

マネージドサービスの利点

- 構築不要
- 運用不要
- クラウドサービスのSLAが適用
- 冗長構成の標準提供
- 安価な利用料金

ソフトウェアモデル（EDB）の利点

- 環境を選ばない提供モデル
- エンタープライズ向けの専用ツール提供
- 信頼性を設計可能
- 高いOracle互換性（Enterprise Edition）
- サブスクリプション契約
- 高度な専門サポートの提供



クラウドでのデータベースの選定ポイント

可用性とサポート

クラウドサービスを利用する場合、SLA目標は各クラウドサービスにより異なります。**SLAの目標値は99.5～99.99%**で設定されています。**運用は不要になるが障害時の対応や復旧もサービス任せになる**ことを理解して利用する必要あり。

サポートはマネージドサービスの場合はクラウドサービスのサポートを、ソフトウェアでEDBを導入した場合にはDBエンジニアによる高度なサポートが受けられます。

 システムの重要性に合わせたSLA,サポートを選択することが重要



クラウドでのデータベースの選定ポイント

システムの傾向



EDBはSoR,SoE,SoA どの傾向でも
どのクラウドでも利用できる

運用期間とコスト



計画に合わせて選べるサービス、
仮想マシンは従量課金と予約リソースの選択が可能

ソフトウェアモデル or
マネージドサービス



マネージドサービスは全ておまかせで楽
企業の業務システムではツールとサポート内容
からsw (サブスクリプションモデル) が向きやすい

可用性とサポート



高い可用性を求める場合はソフトウェアで
独自に構成を組むことで実現可能
サブスクリプションでは24/365で高度なサポートを提供



DB Postgres Vision Tokyo 2019

2019年8月1日（木）赤坂インターシティコンファレンス

<https://pgvt2019.edbjapan.com/>

13:25～14:05 講演セッション2

いま PostgreSQL が採用されている理由
～OSSのプロフェッショナルから学ぶ選定基準～



サイオステクノロジー株式会社
イノベーティブソリューション事業企画部

EDB製品に関するご相談は下記フォームよりお気軽にご連絡ください。

https://lp.sios.jp/IS_OSS_LP_OSS1.html

